

彩の国マルシェにて産学連携企画 地域金融機関として地域産業を応援しております

飯能信用金庫（本店：飯能市 理事長：松下寿夫）は木材・プレカット分野の地元企業の株式会社タカキ（本社：東京都東大和市 代表取締役社長：高木聡）、武蔵野学院大学（本部：狭山市 学長：高橋暢雄）と連携し、「彩の国マルシェ～Sayama City Style～」にてワークショップを開催しました。

飯能信用金庫は創業以来70年以上に渡り、地域経済の発展に寄与するために営業活動が続けてまいりました。また、地域活性化の取組の一環として、令和3年度から彩の国マルシェ（主催：狭山市 運営：NPO法人彩の国地域活性化協会）の運営協力をさせていただいております。

この度、木材・プレカットを中心とした事業を展開している株式会社タカキ（本社：東京都東大和市）と連携した木材加工のワークショップを、令和5年6月17日（土）・18日（日）ならびに10月14日（土）・15日（日）「彩の国マルシェ～Sayama City Style～」にて開催しました。

ワークショップには、当金庫が産学連携に関する協定書を締結している武蔵野学院大学の学生5名も運営に携わりました。当金庫引き合わせのもと、当日に向けて株式会社タカキのビジネスモデルについて事前に理解を深めたうえ、当日の来場者の方々に再資源化木材“ホワイトウッド集成材”を通じて木材加工の魅力を知ってもらう取組みとしました。

当日はSDGsについて理解を深めていただくワークショップの1ブースとして出展。お子様連れのご家族を中心に多数の方々に来場いただきました。

飯能信用金庫は今後とも、信用金庫の使命でもある「地域経済の発展促進」を果たし、将来の地域社会の発展を担う人材の育成につなげていきます。

